

SHOWA

第 89 期

報 告 書

平成22年4月1日 ▶ 平成23年3月31日

 昭和鉄工株式会社
Showa Manufacturing Co.,Ltd.

証券コード：5953

株主の皆様へ

ごあいさつ



代表取締役社長

山本 駿一

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社グループは平成23年3月31日をもちまして、第89期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成23年6月

社長インタビュー ～中期経営計画「リカバリー130」の推進と新たな挑戦～

当社グループが、今後も『信頼され選択される企業集団』であり続けるために、「差別化した新製品・サービスの拡販」と「利益確保のための構造改革」に取り組みます。

Q 第89期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半はBRICsを中心とする新興国の需要拡大による輸出の増加や政府の経済対策などを背景に緩やかながらも回復基調にありましたが、デフレの進行や厳しい雇用情勢などにより不安定な状況で推移しました。後半においても欧米経済の先行き不安や円高の影響で経済情勢は不透明な状況が続く中、3月に発生し戦後最大の災害となりました東日本大震災は、企業の生産活動にも深刻な打撃を与え、一時的には経済活動に多大な影響を及ぼす要因となりました。



このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の初年度として、重点課題の一つである「差別化した新製品・サービスの拡販」に取り組むとともに、人件費を含む固定経費の徹底した削減等で原価の低減に努めてまいりました。

Q 第89期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は118億3千7百万円（前連結会計年度比6.5%増）、受注高につきましては102億6千9百万円（同比9.2%減）となりました。

損益面では、売上高の増加、固定経費の削減、原材料費の低減等により、経常利益は8千5百万円（前連結会計年度は経常損失5億2千6百万円）となりました。

また、特別損失に投資有価証券評価損等2千5百万円を計上した結果、当期純利益は3千8百万円（前連結会計年度は当期純損失16億3千6百万円）となりました。

| 区 分 | 第85期 (平成18年度) | 第86期 (平成19年度) | 第87期 (平成20年度) | 第88期 (平成21年度) | 第89期 (平成22年度) |
|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 受 注 高(百万円) | 12,397 | 16,734 | 13,190 | 11,308 | 10,269 |
| 売 上 高(百万円) | 13,855 | 14,520 | 13,813 | 11,116 | 11,837 |
| 経 常 損 益(百万円) | △ 667 | 116 | 16 | △ 526 | 85 |
| 当期純損益(百万円) | 32 | 44 | △ 126 | △ 1,636 | 38 |

Q セグメント別の業績をお聞かせください。

[機器装置事業]

機器装置事業につきましては、熱源機器は「業務用エコキュート」の受注・売上が拡販努力により順調に増加しましたが、空調機器は「ファンコイルユニット」及び「エアハンドリングユニット」の売上が採算重視の販売政策により多少減少しました。また、環境機器のうち「ステンレス箔ヒーター」の売上が順調に推移しました。

その結果、設備工事を含めた当事業の売上高は72億1千9百万円（前連結会計年度比0.8%減）、受注高は69億7千7百万円（同比9.2%減）となりました。



株主の皆様へ

[素形材加工事業]

素形材加工事業につきましては、鋳造品は一般産業機械・自動車向け部品の在庫調整による影響を受けましたが、景観製品は橋梁用防護柵のリニューアル需要に支えられ順調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は23億9千万円（前連結会計年度比1.1%増）、受注高は23億9千5百万円（同比3.0%増）となりました。

[サーモデバイス事業]

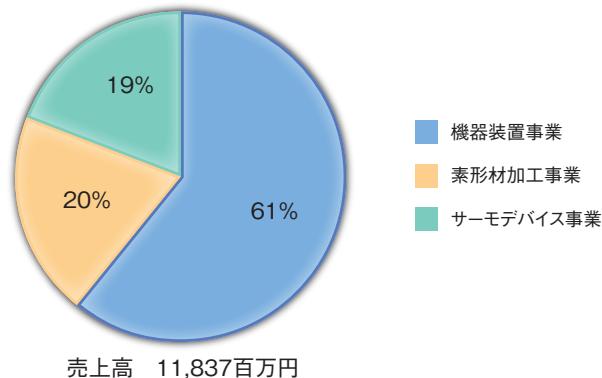
サーモデバイス事業につきましては、主に先方都合により納入延期されていた台湾の液晶パネルメーカー向け熱処理炉の前年度受注残分が出荷できたこともあり、売上は順調に推移しましたが、受注は設備投資循環による縮減で低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は22億2千7百万円（前連結会計年度比50.8%増）、受注高は8億9千6百万円（同比31.0%減）となりました。

セグメント別の売上高・受注高

| | 売上高 | 受注高 |
|-----------|----------|----------|
| | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) |
| 機器装置事業 | 7,219 | 6,977 |
| 素形材加工事業 | 2,390 | 2,395 |
| サーモデバイス事業 | 2,227 | 896 |
| 合計 | 11,837 | 10,269 |

セグメント別の売上高構成比



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、世界経済においてBRICsを中心とする新興国の高成長持続・需要拡大という背景があり、日本の景気回復が期待されておりましたが、東日本大震災と原子力発電所の被災に伴う電力不足や風評被害、部品・素材の供給体制の混乱が景気に下押し圧力をかけていることから、足元の日本経済は当面の間厳しい状況が続くものと予想されます。



Q 中期経営計画の2年目に当たる平成23年度の取り組みをお聞かせください。

中期経営計画「リカバリー130」の基本方針である「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を進めるため、細部の見直しを図りながら重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」と「利益確保のための構造改革」に取り組んでまいります。また、これらを推進していく上での優先課題として、財務体質の改善、CSRの推進、リスクアセスメントの充実及び人材の活性化に注力してまいります。

Q 東日本大震災の影響についてお聞かせください。

東日本大震災が発生した3月11日に私を本部長とする緊急災害対策本部を設置し、被害情報の収集と対応策の検討・実施を機動的かつ弾力的に進めてまいりました。幸いにして従業員の人的被災はなく、当社グループ仙台営業所の被害も比較的軽微であったため、通常の営業体制に速やかに回復することができました。今後の当社グループの事業活動に対する影響につきましては不透明な部分も多いことから、さらなる情報の集約に努めるとともに必要に応じた具体的対応策を推進してまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えるための経営効率化、新規事業進出に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第89期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき2円とさせていただきます。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

環境の変化に迅速に対応できる機動的な体制の確立と的確な経営判断により、企業倫理に則った公正で誠実な事業活動を推進し、これからも『信頼され選択される企業集団』となりうるよう、全力をつくし業績の向上と新たな成長分野へ邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





当社グループは、創業130周年に当たる第92期（平成25年度）までに「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を目指し、中期経営計画『リカバリー130』を推進しております。



第90期（平成23年度）につきましては、下記の重点課題に取り組んでまいります。

重点課題 RECOVERY130 数値目標 RECOVERY130

1. 差別化した新製品・サービスの拡販

■機器装置事業

- 環境・省エネをキーワードにしたさらなる差別化
 - ・「業務用エコキュート」「タフセーバー」「潜熱回収ヒーター」をコアに給湯システムを拡販
 - ・「ヒートポンプ式リタンエアデシカント空調機」のスペックイン活動の強化

■素形材加工事業

- 橋梁用防護柵のリニューアル市場向け補修対応製品の差別化
- 設備導入によるガスタービン分野の精密鋳造品等の高付加価値化

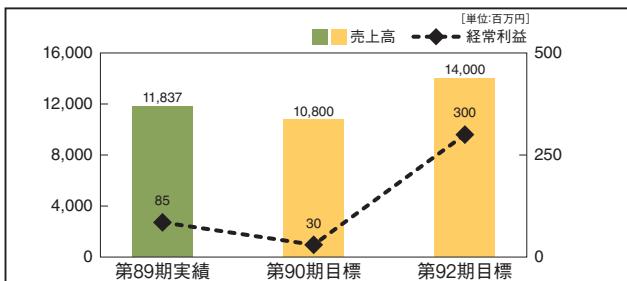
■サービスエンジニアリング事業

- メンテナンス部門と工事部門との統合による相乗効果の創出
- 営業・販売・サービス体制の強化によるストック市場の掘り起こし

■第92期（平成25年度）

- 連結売上高130億円以上
- 連結売上高経常利益率2%以上

| 区 分 | 第89期 実績 (平成22年度) | 第90期 目標 (平成23年度) | 第92期 目標 (平成25年度) |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 売上高(百万円) | 11,837 | 10,800 | 14,000 |
| 営業利益(百万円) | 86 | 30 | 400 |
| 経常利益(百万円) | 85 | 30 | 300 |
| 売上高経常利益率(%) | 0.7 | 0.3 | 2.1 |



2. 利益確保のための構造改革

■新しい収益源の確立

- 総合開発部と各事業のソリューション部との連携強化による製品開発及び新規事業創出の推進

■サーモデバイス事業の再構築

- 固定費のミニマム化とフレキシブルな生産体制の確立
 - ・韓国の合弁会社への生産移管によるグローバル化
 - ・国内における高付加価値なエンジニアリング事業への転換

優先課題 RECOVERY130

■財務体質の改善

- 在庫削減・経費削減の徹底

■CSRの推進

- コンプライアンス・環境に対する意識の醸成

■リスクアセスメントの充実

- 品質の向上、品質保証・生産体制の強化、安全・衛生活動の推進

■人材の活性化

- 人事制度の改正、技術継承の取り組み、人材育成機会の充実



貯湯槽一体型 ガス給湯システム

潜熱回収型ガス給湯器と高効率貯湯槽（ハイパー貯湯槽）及び給湯一次・二次循環ポンプをワンパッケージとし、一般的なボイラーやヒーターと比べて20%以上のエネルギー節約を実現しました。

また、給湯設備に必要なすべての機器をコンパクトにパッケージ化することで、設置面積の縮小や施工の簡易性も向上させています。



熱損失70%削減 給湯熱量20%削減



省工ネ運転 制御システム
 +
 潜熱回収型 ガス給湯器
 +
 流動境界 貯湯方式 貯湯槽



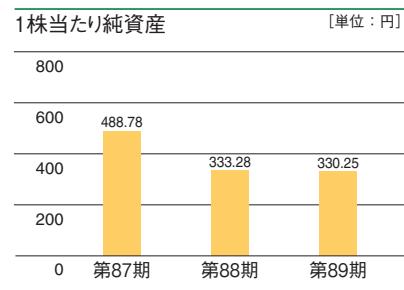
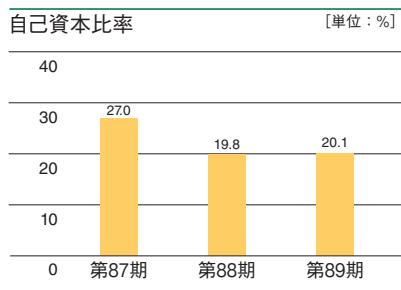
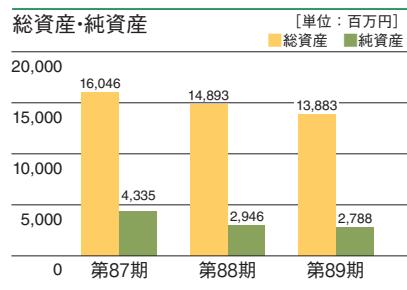
3つの効率がすごい！

連結財務データ

連結貸借対照表

[単位：百万円]

| 科 目 | 当 期 | 前 期 | 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|---------------|---------------|---------------|-------------------|---------------|---------------|
| | 平成23年 3月31日現在 | 平成22年 3月31日現在 | | 平成23年 3月31日現在 | 平成22年 3月31日現在 |
| (資産の部) | | | (負債の部) | | |
| 流 動 資 産 | 8,411 | 9,109 | 流 動 負 債 | 7,845 | 9,183 |
| 現金及び預金 | 2,882 | 2,476 | 支払手形及び買掛金等 | 2,650 | 2,886 |
| 受取手形及び売掛金等 | 3,934 | 4,973 | 短期借入金 | 4,410 | 5,314 |
| たな卸資産 | 1,490 | 1,615 | 未払費用 | 441 | 529 |
| その他 | 116 | 59 | 未払法人税等 | 26 | 38 |
| 貸倒引当金 | △ 12 | △ 16 | 設備関係支払手形 | 25 | 5 |
| 固 定 資 産 | 5,471 | 5,784 | そ の 他 | 290 | 409 |
| 有形固定資産 | 3,261 | 3,397 | 固 定 負 債 | 3,249 | 2,764 |
| 建物及び構築物 | 1,090 | 1,154 | 長期借入金 | 1,161 | 684 |
| 機械装置及び運搬具 | 431 | 484 | 退職給付引当金 | 1,555 | 1,556 |
| 土地 | 1,678 | 1,678 | そ の 他 | 532 | 523 |
| 建設仮勘定 | 1 | 1 | 負 債 合 計 | 11,095 | 11,947 |
| その他 | 59 | 78 | (純資産の部) | | |
| 無形固定資産 | 93 | 90 | 株 主 資 本 | 3,098 | 3,116 |
| 借地権 | 63 | 63 | 資 本 金 | 1,641 | 1,641 |
| その他 | 30 | 27 | 資 本 剰 余 金 | 1,225 | 1,994 |
| 投資その他の資産 | 2,116 | 2,295 | 利 益 剰 余 金 | 318 | △ 488 |
| 投資有価証券 | 1,515 | 1,643 | 自 己 株 式 | △ 86 | △ 30 |
| その他 | 654 | 717 | その他の包括利益累計額 | △ 310 | △ 170 |
| 貸倒引当金 | △ 53 | △ 65 | その他有価証券評価差額金 | △ 286 | △ 172 |
| 資 産 合 計 | 13,883 | 14,893 | 為 替 換 算 調 整 勘 定 | △ 24 | 2 |
| | | | 純 資 産 合 計 | 2,788 | 2,946 |
| | | | 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 13,883 | 14,893 |





連結損益計算書

[単位：百万円]

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|----------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 | 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日 |
| 売 上 高 | 11,837 | 11,116 |
| 売 上 原 価 | 9,274 | 8,974 |
| 売 上 総 利 益 | 2,563 | 2,141 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,476 | 2,654 |
| 営 業 損 益 | 86 | △ 512 |
| 営 業 外 収 益 | 124 | 125 |
| 営 業 外 費 用 | 126 | 139 |
| 経 常 損 益 | 85 | △ 526 |
| 特 別 利 益 | — | 18 |
| 特 別 損 失 | 25 | 167 |
| 税金等調整前当期純損益 | 60 | △ 676 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21 | 40 |
| 法人税等調整額 | — | 918 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 38 | — |
| 当 期 純 損 益 | 38 | △ 1,636 |

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 | 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 990 | 339 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 100 | △ 121 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 483 | △ 50 |
| 現金及び現金同等物の 増 加 額 | 405 | 167 |
| 現金及び現金同等物の 期 首 残 高 | 2,476 | 2,308 |
| 現金及び現金同等物の 期 末 残 高 | 2,882 | 2,476 |

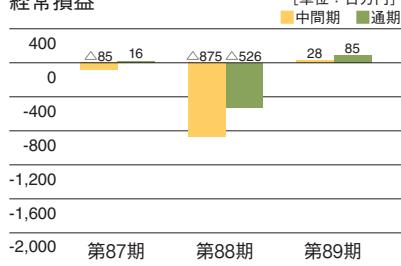
売上高

[単位：百万円]



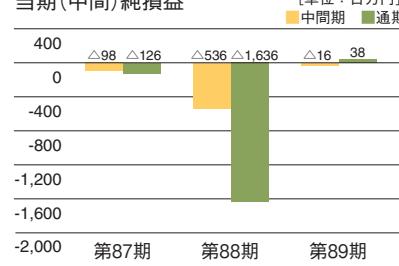
経常損益

[単位：百万円]



当期(中間)純損益

[単位：百万円]



会社の概況 Corporate Data

会社概要 (平成23年3月31日現在)

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号 | 昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd. |
| 本社所在地 | 福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号 |
| 創業 | 明治16年10月2日 |
| 設立 | 昭和8年4月30日 |
| 資本金 | 16億4,100万円 |
| 従業員数 | 348名 (連結425名) |
| 主な事業内容 | ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器のほか、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品、液晶パネル製造用熱処理炉等の製造販売及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負等 |
| 主な事業所 | |
| 東京支社 | 東京都大田区南六郷三丁目10番16号 |
| 工場 | 宇美工場、久山工場 (以上福岡県粕屋郡)、古賀工場 (福岡県古賀市)、札幌工場 (石狩市) |
| 営業所 | 札幌 (石狩市)、仙台、北関東 (さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州 (福岡県粕屋郡)、南九州 (熊本市)、鹿児島 |
| 関係会社 | 朝日テック株式会社、昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連水山空調設備有限公司 |

役員 (平成23年6月23日現在)

| | | |
|----------|-------|--|
| 取締役・監査役 | | |
| 代表取締役 | 山本 駿一 | |
| 取締役 | 山田 治彦 | |
| 取締役 | 相賀 恒男 | |
| 取締役 | 相賀 恒男 | |
| 取締役 | 寺倉 彰 | |
| 取締役 | 筋野 隆 | |
| 常任監査役 | 飯田 久泰 | |
| 監査役 (常勤) | 笠置 英明 | |
| 監査役 | 櫻井 文夫 | |
| 監査役 | 永利 新一 | |
| 執行役員 | | |
| 社長 C E O | 山本 駿一 | |
| 専務執行役員 | 山田 治彦 | |
| 専務執行役員 | 相賀 恒男 | |
| 常務執行役員 | 寺倉 彰 | |
| 執行役員 | 村山 正巳 | |
| 執行役員 | 吉次 善広 | |
| 執行役員 | 福田 俊仁 | |

株式の状況 Stock Information

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

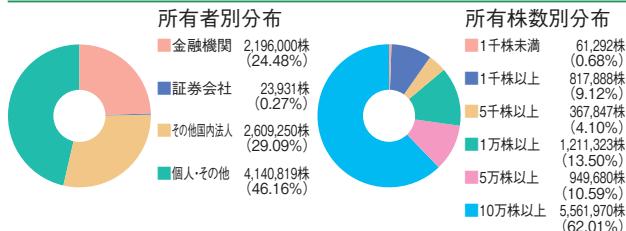
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 24,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 8,970,000株 |
| 株主数 | 947名 |

大株主 (平成23年3月31日現在)

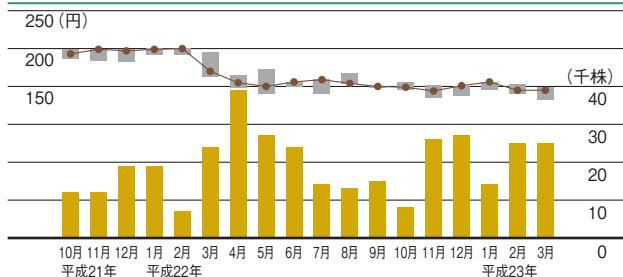
| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--------------|----------|-------|
| 三井金属鉱業株式会社 | 485,000株 | 5.74% |
| 株式会社福岡銀行 | 415,500 | 4.92 |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 400,000 | 4.73 |
| 飯田久泰 | 370,000 | 4.38 |
| 株式会社山口銀行 | 357,500 | 4.23 |
| 住友商事株式会社 | 345,000 | 4.08 |
| 飯田卓子 | 297,114 | 3.51 |
| 西日本鉄道株式会社 | 291,000 | 3.44 |
| 稲田好美 | 198,135 | 2.34 |
| 日本乾溜工業株式会社 | 187,000 | 2.21 |

(注) 持株比率は、自己株式 (527,221株) を控除して計算しております。

株式分布状況 (平成23年3月31日現在)



株価の推移





| | |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主総会の招集地 | 福岡市 |
| 基準日 | 定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 (お問合せ先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並び に日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行って おります。 |
| 公告方法 | 電子公告によります。 http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。 |
| 単元株式数 | 1,000株 |

ホームページもご覧ください。

<http://www.showa.co.jp/>



株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

H·E·A·T·S

技術とモノづくりで
豊かな未来を

SHOWA



〒812-8587 福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
TEL 092-651-2931 (代表)

